

# 不活化ポリオワクチンについて

(2012.8.16)

1. ポリオは、ポリオウイルスが感染することによって、約1000人に1人手足に麻痺の後遺症を残すことがある病気です。
2. 日本でもかつて大流行したことがあり、海外の生ワクチン（口から飲むワクチン）を緊急輸入して流行を抑えることに成功しました。
3. 世界でもポリオは激減しており、日本では30年以上前からポリオ患者の発生はありませんが、アジアやアフリカの一部では現在でも流行が起っています。
4. 世界との交流が盛んな現在、ワクチンを接種していないと必ず流行が起ると考えられます。実際に欧米でも流行したことがあります。
5. 日本で使用してきた生ワクチンは、予防効果は強いのですが極めてまれにワクチンウイルスによる麻痺を起こすことが問題となっていました。
6. そのため、2012年9月から麻痺を起こす心配のない、不活化ワクチン（注射）に切り替わります。
7. 生後3ヵ月から接種できます。3～8週間間隔で3回、さらに3回目の約1年後に1回（追加接種）の合計4回接種します。
8. 生ワクチンを2回接種している場合は、不活化ワクチンは接種しません。
9. 生ワクチンを1回だけ接種している場合は、2回＋追加接種の3回接種します。
10. 他のどのワクチンとも同時接種することができます。
11. 同時接種をしない場合は、日本でのポリオ発生がないことを考えると、ヒブ・肺炎球菌・3種混合・BCG・ロタワクチンを優先した方がいいでしょう。
12. 2012年11月からは3種混合とポリオが一緒になった4種混合ワクチンが使用できるようになります（1度も3種混合を接種していない場合）。しかし、お子さんが生後3ヵ月になっている場合は4種混合ワクチンを待つのではなく、早めに3種混合ワクチンを接種しましょう。待っている間に3種混合で防げる病気・重症の百日咳にかかる危険があるからです。
13. 接種スケジュールなど詳しくはクリニックまでお問い合わせ下さい。



**ハピネス こども クリニック**

お問い合わせは…

**087-848-9178**

